



2016 SCHOOL NEWS



選手に声援をおくる市立五日町小の子どもたち＝南魚沼市

共に生きる社会めざして

新潟で開催 スペシャルオリンピックス日本

地元の小学生 大活躍



おにぎりを作るボランティアの小学生に取材する井口翼くん（中央）と堀江結さ（右）＝南魚沼市

知的障害がある人たちのスポーツの祭典「第6回スペシャルオリンピックス（SO）日本冬季ナショナルゲーム・新潟」が12月14日、新潟市と南魚沼市で開催され、全国から集まった約600人の選手たちが7競技33種目で日ごろの練習の成果を競いました。アルペンスキーなどが行われた南魚沼市では、地元の小中学生が選手、ボランティア、そして取材記者として元気にいっしょに会場を駆けめぐりました。

競技で 出場が自信につながる

スノーシューイングという競技を知っていますか。「西洋かんじき」とも呼ばれる道具を足につけて、雪の上で行うかけっこです。



雪をかき上げながら走る山口大輝くん＝新潟県南魚沼市

SO日本理事長、有森裕子さん（元マラソン選手、オリンピック・メダリスト）の話。小学生のみならず、日常生活のなかで自分ではどうしようもできない不自由さ、不便さをかかえているかもしれない選手（選手）たちの姿を見れば、できないことはない、それぞれの特技を生かしてチャレンジすることが大切だとわかるはずです。機会さえあれば、みんなががんばれるのです。



SO日本理事長、有森裕子さん

朝日小学生新聞 2月18日



2016年 2月18日 木曜日
朝日小学生新聞社
〒949-6615 南魚沼市西泉田 47-2
☎025-773-3770
FAX 025-773-3771
E-mail sougoushien@minamiuonuma.ed.jp

全国紙1面トップに南魚沼市が！
朝日小学生新聞は、朝日学生新聞社（朝日新聞社子会社）が1967年から発行している小学生向けの日刊新聞。略称は朝小（あさしょう）です。発行部数11万超。

取材で 自分も「頑張る」と発信

SOは、オリンピックと同じように4年ごとに夏季、冬季大会が開かれます。今回の日本大会は、2017年にオーストラリアで開かれる世界大会の選考会も兼ねています。大きな役割は、障害のあるなしにかかわらず、さまざまな人が共に生きる社会をめざすというメッセージを発信すること。地元を中心にボランティアの4千人が支え、南魚沼市立の小中学校と総合支援学校計26校の子どもたちも、さまざまな形で参加しました。

津先生はふり返ります。アルペンスキーの前進を務めたのは、山口くんと同じクラスの樋口達也くん（6年）。「大勢の前で太鼓かな」と前日にドキドキしていた樋口くんですが、SO日本名譽会長の細川佳代子さん（「一番にはなかった。自分でも納得できる走りかできた」と）と、自分もがんばろうという気持ちになったという。読者にSOのことを伝えたい」とはきります。

里山支所の支所長で堀江小学校長の岡村秀雄先生は「大会に自らかかわること、思っているだけでなく実際に行動することの大切さを学べたのでは」と話します。

津先生はふり返ります。アルペンスキーの前進を務めたのは、山口くんと同じクラスの樋口達也くん（6年）。「大勢の前で太鼓かな」と前日にドキドキしていた樋口くんですが、SO日本名譽会長の細川佳代子さん（「一番にはなかった。自分でも納得できる走りかできた」と）と、自分もがんばろうという気持ちになったという。読者にSOのことを伝えたい」とはきります。

津先生はふり返ります。アルペンスキーの前進を務めたのは、山口くんと同じクラスの樋口達也くん（6年）。「大勢の前で太鼓かな」と前日にドキドキしていた樋口くんですが、SO日本名譽会長の細川佳代子さん（「一番にはなかった。自分でも納得できる走りかできた」と）と、自分もがんばろうという気持ちになったという。読者にSOのことを伝えたい」とはきります。

新潟日報 2月16日

県勢奮闘メダルラッシュ

将来見据え「もっと速く」

スノーシューイング⑩ 金 山口君（南魚沼）



接戦となったスノーシューイング100に決勝、山口大輝君は雪を跳ね上げ全力疾走した＝14日、南魚沼市の五日町スキー場

O級で1位になった山口大輝くんは、クロスカントリー30分30秒で優勝した。山口大輝くんは「もっと速く走りたい」と話している。山口大輝くんは「もっと速く走りたい」と話している。

山口大輝くんは「もっと速く走りたい」と話している。山口大輝くんは「もっと速く走りたい」と話している。

雪上の熱い戦い開幕

応援パネル、会場で歌やカフェ…住民らのもてなし好評

南魚沼



民有志が工夫を凝らし、他の競技も親切で、おてなしの気持ちで応援した。市民の胸にも思いがけず、市内の数軒の4年生は13日、14日の両日で選手たちを応援した。市民の胸にも思いがけず、市内の数軒の4年生は13日、14日の両日で選手たちを応援した。

新潟日報
2月16日

